



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「鰹節の生産量」と「そら豆の収穫量」です。



鰹節の生産量

検索



そら豆の収穫量

検索



鰹節の生産量

そら豆の収穫量

そら豆の収穫量

鹿児島県のそら豆の収穫量は、国内生産量の約3割を占め、全国1位を誇っています。そら豆の収穫は12月から始まり、全国的には5月～6月にピークを迎えますが、4月までは南国の温暖な気候によって早く旬を迎える鹿児島県産が9割以上を占めています。

そら豆は若返りの野菜とも呼ばれており、健康な皮膚や髪を維持してくれるビタミンB2や疲労回復に役立つビタミンB1を豊富に含んでいます。また、皮にはコレステロールを減らしてくれる食物繊維もたっぷり含まれているので、皮ごと食べるのがお勧めです。

そら豆の収穫量(平成24年)

1位 鹿児島県 29.2%	2位 千葉県 15.0%	3位 茨城県 8.9%	その他 46.9%
---------------------	--------------------	-------------------	--------------

(出所:農林水産省「平成24年産野菜生産出荷統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)



鰹節の生産量

鰹節は戦国時代に「^{かつおぶし}勝男武士」という当て字から縁起物とされ、陣中食としても利用されたそうです。鹿児島には江戸時代に現在の製法が伝えられ、「薩摩節」として薩摩藩の収入源となりました。

鹿児島県は、枕崎港でのカツオの水揚げが有名で、鰹節の生産に不可欠な良質な水、^{はいかん}焙乾(※1)に使用する^{カシ}樗やクヌギなどが容易に手に入ることもあり、鰹節の生産量は全国の約7割を占めています。

鰹節の製造工程には、^{しゃじやく}煮熟(※2)、焙乾など特徴的な工程がありますが、特に高級品とされる「^{ほんが}本枯れ節」はこれに加え、カビ付け(※3)、天日干しの工程を繰り返し、長いものでは1年以上かけて製造されます。

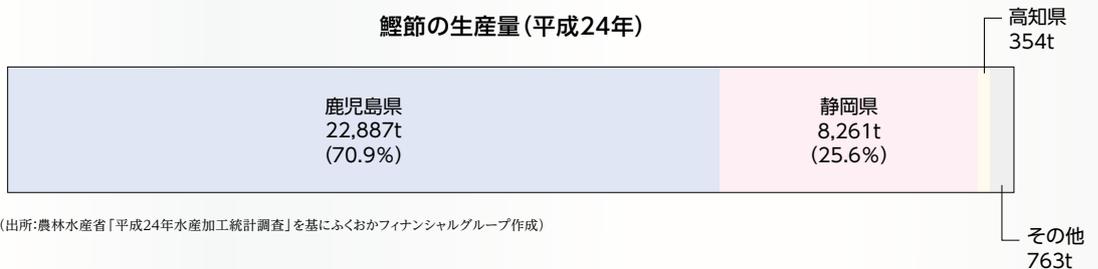
旨味の凝縮された本枯れ節は、高級料亭に欠かせない素材として重用されています。

※1 焙乾…樗などの薪を焚き、煙でいぶすこと。

※2 煮熟…約90～98℃のお湯で1～2時間程度カツオの切り身を煮ること。

※3 カビ付け…優良カビを生やすことで不良カビの発生を防ぐとともに、独特の芳香や旨みが生じるなどの効果がある。

鰹節の生産量(平成24年)



(出所:農林水産省「平成24年水産加工統計調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

福岡県の景気は、主要指標である生産が底堅く推移する他、個人消費は持ち直しの動きが続く等、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いています。

生産は、消費税増税前の駆け込み需要に対応して輸送機械が増産となる等、底堅く推移しています。個人消費は、大型小売店販売額が堅調に推移し、自動車販売が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は好調に推移しています。

(森山 裕司)

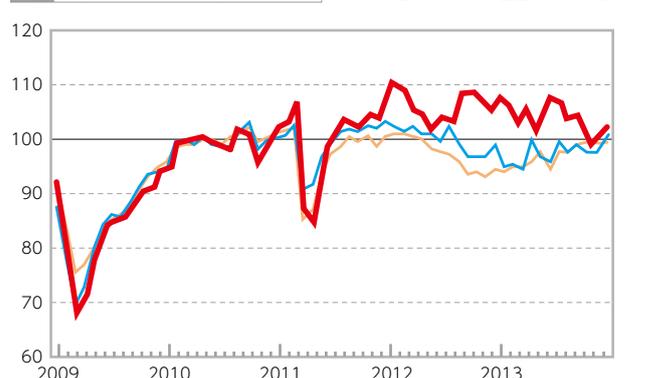
1. 生産活動 | 底堅く推移している

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は103.3と前月比1.8%上昇しました。

主要業種では、消費税増税前の駆け込み需要に対応した輸送機械や半導体製造装置が増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県・福岡県 2010年=100)

出所 福岡県、九州経済産業局、経済産業省



2. 個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

昨年12月と今年1月の大型小売店販売額は、前年同期比1.7%増の1,390億円となりました。(※)

耐久消費財を中心に消費税引き上げ前の駆け込み需要がみられます。

1月の自動車販売は、前年同月比29.8%増の17,619台となっています(乗用車は同26.2%増、軽自動車は同35.8%増)。

(※一部スーパーの調査対象期間が変更され、従来は1月の統計に計上されていた年末商戦が12月の統計に計上されました。従って、前年対比をする上で、上記は12月と1月の販売額合計で記載しています)

■ 福岡県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





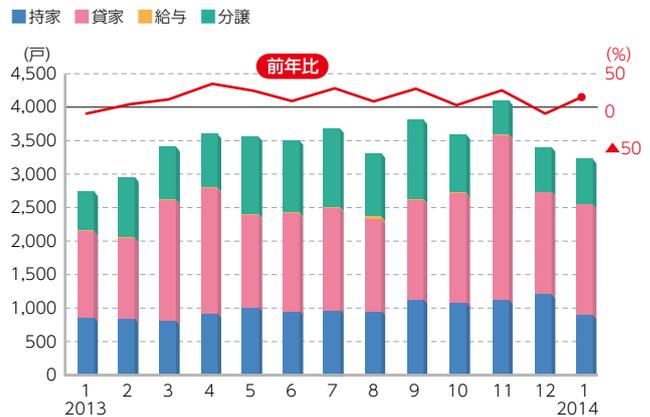
3.住宅建設 | 好調に推移している

1月の新設住宅着工戸数は、3,061戸と前年同月比11.1%増加し、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

「貸家」が前年比約25%増加しています。来年1月の相続税増税を見据え、貸家で節税しようとする動きが見られました。また「持家」も前年を上回る等、好調に推移しています。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



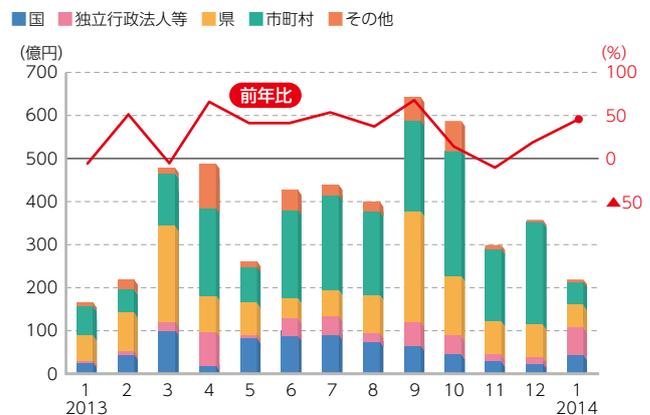
4.公共工事 | 好調に推移している

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比15.6%減の526件、金額が前年同月比43.1%増の233億円となりました。

発注者別では、「国」で港湾工事、「独立行政法人等」でマンション建設等の大型工事があり前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



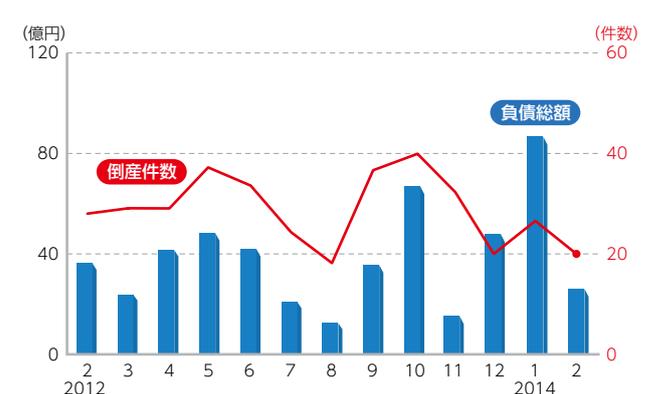
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比28.6%減の20件、負債総額は同23.3%減の約28億円となりました。

製造業で販売不振を原因とした10億円超の大型倒産がありましたが、負債総額は前年を下回っていません。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

主要指標である生産や個人消費がプラス基調で推移する等、熊本県の景気は持ち直しの動きが続いています。

生産は、輸送機械や一般機械が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、自動車販売が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。一方、住宅建設、公共工事は弱含んでいます。

(大仲 陽介)

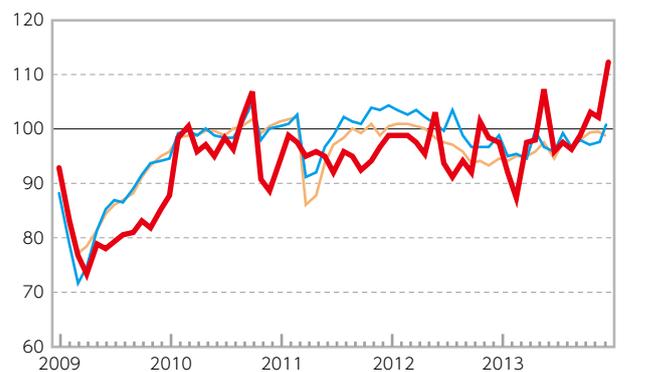
1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は112.1と前月比9.7%上昇しました。

主要業種では、二輪車関連部品が増産となった輸送機械や、フラットパネル・ディスプレイ製造装置の生産が増加した一般機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■ 熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100, 熊本県 2005年=100)

出所 熊本県、九州経済産業局、経済産業省



2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

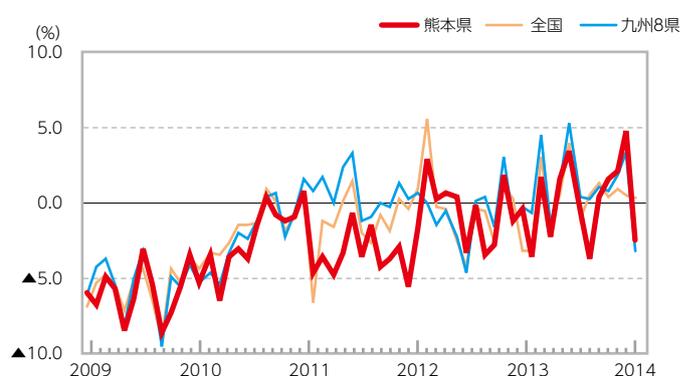
昨年12月と今年1月の大型小売店販売額は、前年同期比1.7%増の342億円となりました。(※)

耐久消費財を中心に消費税率引き上げ前の駆け込み需要がみられます。

1月の自動車販売は、前年同月比28.2%増の6,769台となっています(乗用車は同36.0%増、軽自動車は同20.7%増)。

(※一部スーパーの調査対象期間が変更され、従来は1月の統計に計上されていた年末商戦が12月の統計に計上されました。従って、前年対比をする上で、上記は12月と1月の販売額合計で記載しています)

■ 熊本県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省



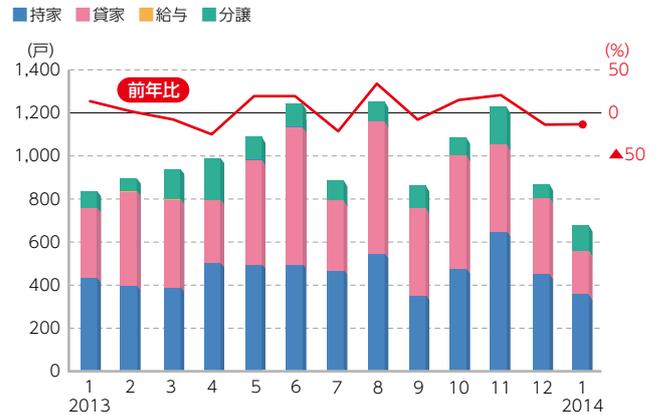
3.住宅建設 | 消費税増税前の駆け込み需要が収束

1月の新設住宅着工戸数は、702戸と前年同月比13.1%減少しました。

消費税増税を意識して9月までに契約された「持家」や、「貸家」の駆け込み着工が大幅に減少しています。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



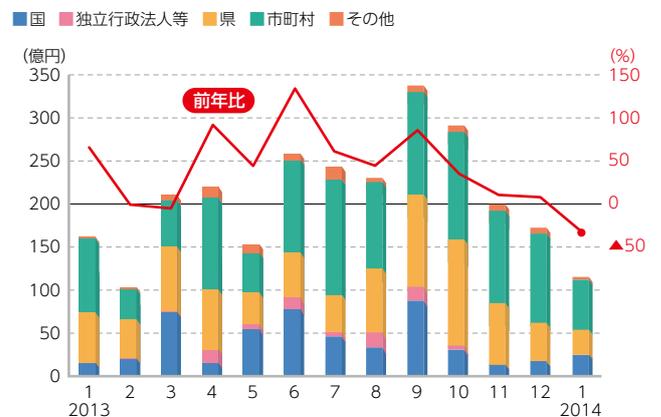
4.公共工事 | 10ヵ月ぶりに前年同月を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比25.6%減の540件、金額が同29.0%減の118億円となりました。

発注者別では、国道改良工事等の発注があった「国」が前年を上回りましたが、「県」や「市町村」の発注は低迷し、10ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



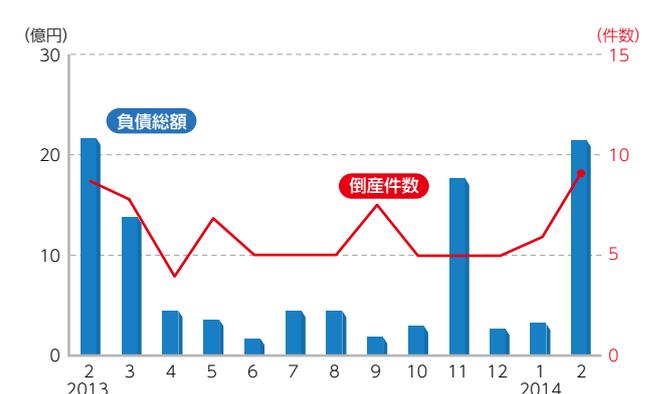
5.企業倒産 | 大型倒産で負債総額が増加

2月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月と同数の9件、負債総額が同0.9%減の約21億円となりました。

ゴルフ場で約18億円の大型倒産が発生し、負債総額は大幅に増加しました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、主要指標である生産が増加を続けている他、個人消費に持ち直しの動きが見られる等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、半導体集積回路の増産により電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、自動車販売が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、好調に推移しています。

(下田 大氣)

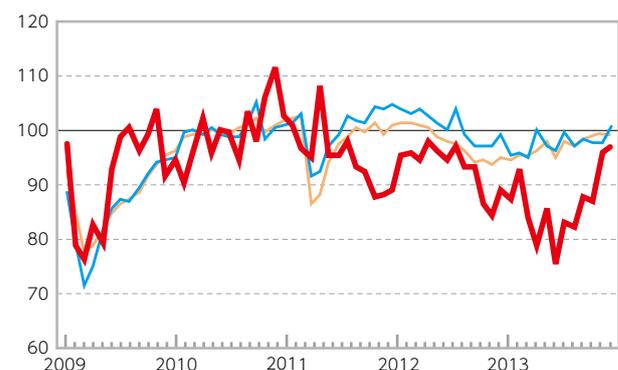
1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.7と前月比1.3%上昇しました。

主要業種では、半導体集積回路の増産により電子部品・デバイスが上昇した他、発電所向けボイラーの生産が増加したことによりはん用・生産用機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(全国・九州7県・長崎県 2010年=100)

出所 長崎県、九州経済産業局、経済産業省



2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

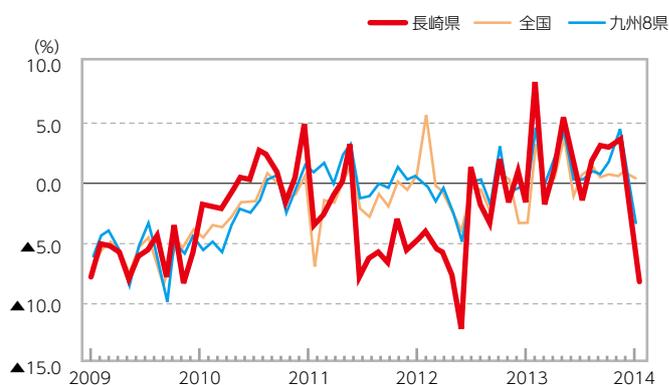
昨年12月と今年1月の大型小売店販売額は、前年同期比1.0%減の232億円となりました。(※)

主力の飲食料品が惣菜を中心に好調だった一方で、専門店に消費者が流れている衣料品は低調に推移しました。

1月の自動車販売は、前年同月比23.0%増の4,841台となっています(乗用車は同24.2%増、軽自動車は同21.9%増)。

(※一部スーパーの調査対象期間が変更され、従来は1月の統計に計上されていた年末商戦が12月の統計に計上されました。従って、前年対比をする上で、上記は12月と1月の販売額合計で記載しています)

■長崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





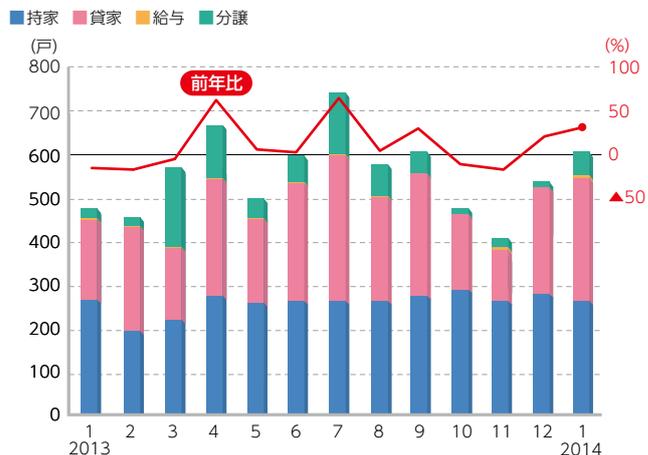
3.住宅建設 | 好調に推移している

1月の新設住宅着工戸数は、611戸と前年同月比27.8%増加しました。

「分譲」が同約3倍と大きく上回った他、「持家」と「貸家」も前年を上回る等、住宅建設は好調に推移しています。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



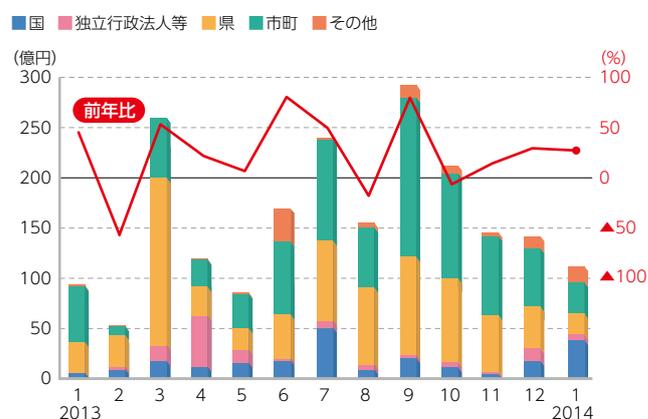
4.公共工事 | 好調に推移している

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.8%減のは296件、金額が同24.5%増の116億円となりました。

発注者別では、鉄道関連の大型案件があった「独立行政法人等」や水源対策工事があった「国」が前年を上回る等、好調に推移しています。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



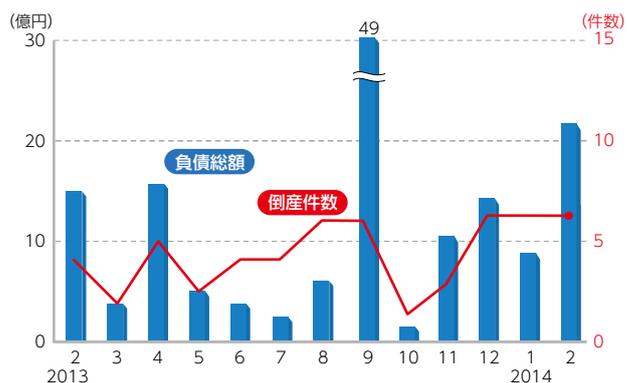
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50%増の6件、負債総額が同50%増の約22億円となりました。

水産物加工業で21億円の大型倒産が発生したため、負債総額は前年を大きく上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、個人消費に弱さが見られるものの、主要指標である生産は底堅く推移しており、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、月次の振れを伴いつつも、電子部品・デバイスや金属製品が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、自動車販売が前年を上回ったものの、大型小売店販売額が前年を下回る等、弱含みで推移しています。住宅建設は、着工戸数増加の動きが一服しています。

(下田 大氣)

1.生産活動 | 月次の振れを伴いつつも、底堅く推移している

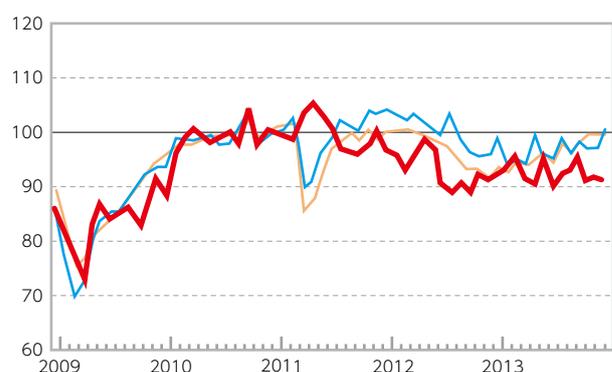
12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.7と前月比0.1%低下しました。

生産は月次の振れを伴いつつも、底堅く推移しています。

主要業種では、土木建設機械が減産となった一般機械が低下したものの、電子部品・デバイスや金属製品は上昇しました。

■ 佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100、佐賀県 2005年=100)

出所 佐賀県、九州経済産業局、経済産業省



2.個人消費 | 弱含みで推移している

昨年12月と今年1月の大型小売店販売額は、前年同期比3.3%減の128億円となりました。(※)

主力の飲食料品が惣菜を中心に好調だった一方で、専門店で消費者が流れている衣料品は低調に推移しました。

1月の自動車販売は、前年同月比38.9%増の3,387台となっています(乗用車は同31.6%増、軽自動車は同45.9%増)。

(※一部スーパーの調査対象期間が変更され、従来は1月の統計に計上されていた年末商戦が12月の統計に計上されました。従って、前年対比をする上で、上記は12月と1月の販売額合計で記載しています)

■ 佐賀県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





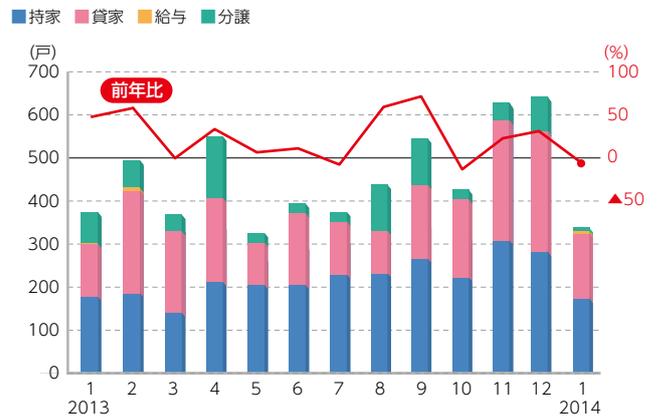
3.住宅建設 | 着工戸数増加の動きが一服

1月の新設住宅着工戸数は、344戸と前年同月比7.5%減少しました。

「持家」と「貸家」は前年を上回りましたが、「分譲（マンション）」「分譲（戸建）」ともに前年を大きく下回りました。足元では、着工戸数増加の動きが一服しています。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



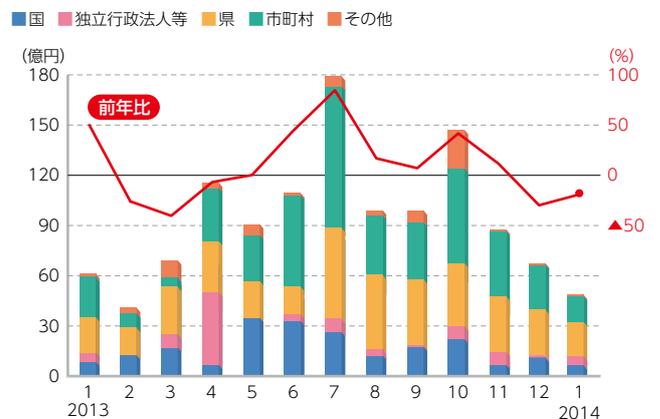
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比12.0%減の235件、金額が同18.5%減の51億円となりました。請負金額は2ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、「独立行政法人等」でトンネル工事の大型案件がありました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



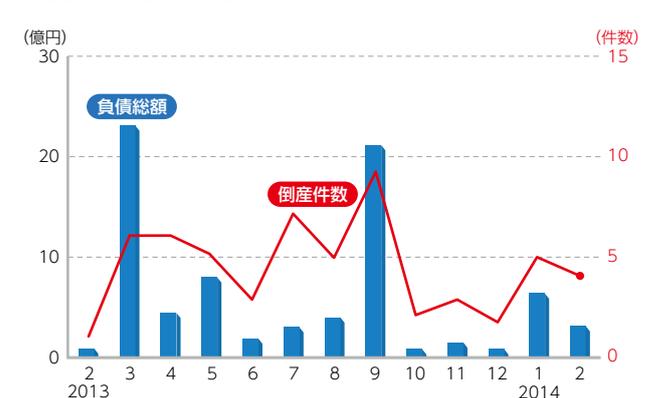
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

2月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比4倍の4件、負債総額が同約5倍の約3億円となりました。

負債総額、件数ともに前年を上回りましたが、低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

大分県の景気は、個人消費に加え、主要指標である生産が底堅く推移する等、持ち直しの動きが見られます。生産は、若干の上下動が見られるものの概ね底堅く推移しています。個人消費は、大型小売店販売額が12月・1月平均でほぼ前年並み水準で推移した他、自動車販売が前年を大きく上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、消費税増税を意識した駆け込み需要がピークアウトを迎え、弱含んでいます。

(松永 圭史)

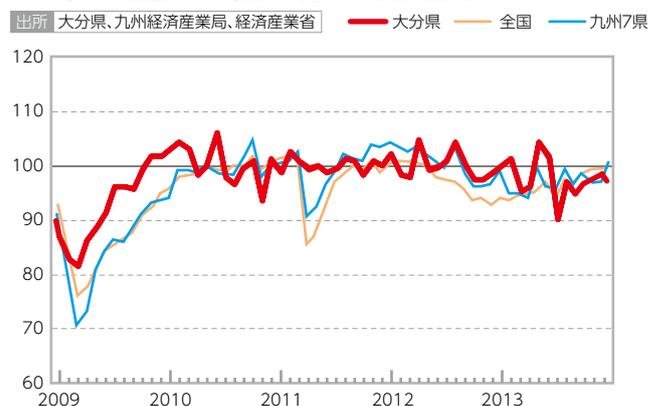
1.生産活動 | 底堅く推移している

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.8と前月比1.7%低下しました。

生産は、若干の上下動が見られるものの、概ね底堅く推移しています。

主要業種では、工場設備の定期修理により鋼板が減産となった鉄鋼が低下しました。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県・大分県 2010年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

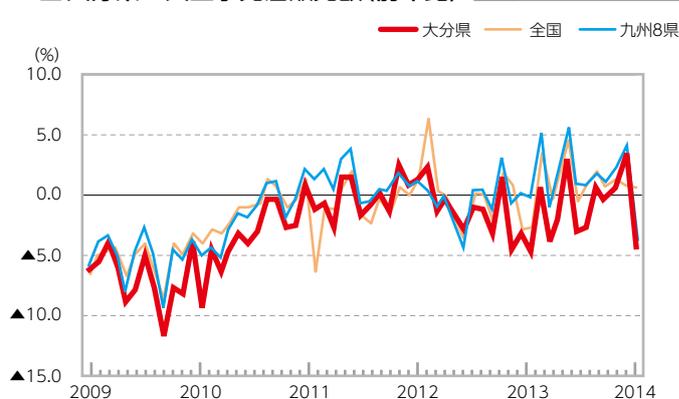
昨年12月と今年1月の大型小売店販売額は、前年同期比0.1%減の242億円となりました。(※)

耐久消費財を中心に消費税率引き上げ前の駆け込み需要がみられます。

1月の自動車販売は、前年同月比33.9%増の4,861台となっています(乗用車は同30.6%増、軽自動車は同37.8%増)。

(※一部スーパーの調査対象期間が変更され、従来は1月の統計に計上されていた年末商戦が12月の統計に計上されました。従って、前年対比をする上で、上記は12月と1月の販売額合計で記載しています)

■大分県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





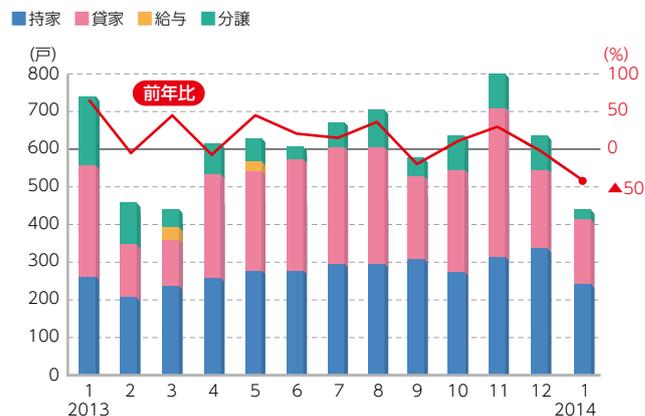
3.住宅建設 | 弱含んでいる

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比38.7%減の450戸となりました。

消費税増税を意識した駆け込み需要がピークアウトを迎え、「持家」「貸家」「分譲」で前年を下回りました。住宅建設は弱含んでいます。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



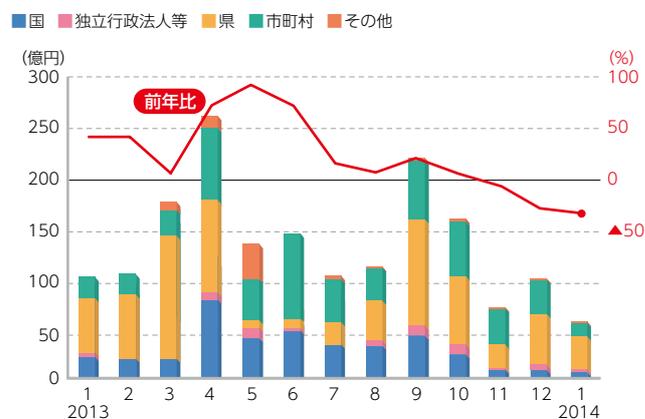
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比30.4%減の352件、金額が同32.6%減の68億円となりました。

大型案件に乏しく、全ての発注者で前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



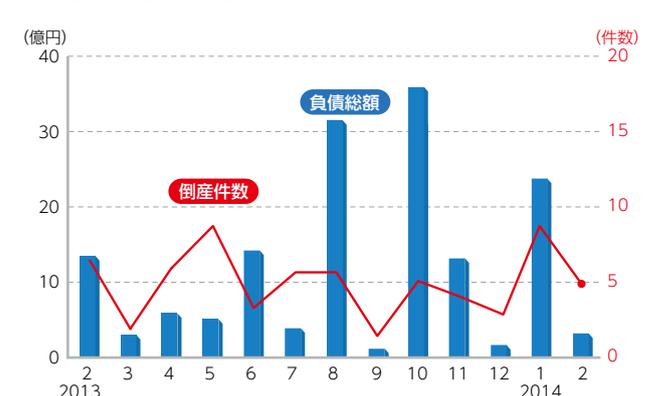
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比28.6%減の5件、負債総額が同71.3%減の約4億円となりました。

建設業で約2億円の倒産が発生しましたが、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、個人消費は持ち直しに向けた動きが一服しているものの、主要指標である生産が増加する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、医療用機械が増産となる等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、大型小売店販売額が前年を下回る等、足元は持ち直しの動きが一服しています。住宅建設は底堅く推移しています。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

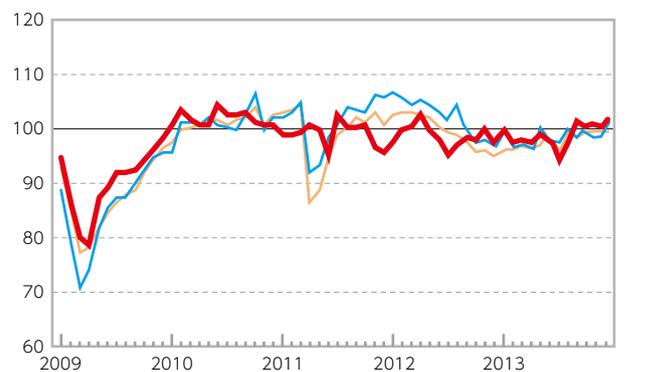
12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は102.0と前月比1.2%上昇しました。

生産は、持ち直しの動きが続いています。

主要業種では、医療用機械の生産が増加したはん用・生産用・業務用機械が上昇しました。

■ 宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県・宮崎県 2010年=100)

出所 宮崎県、九州経済産業局、経済産業省



2.個人消費 | 足元は持ち直しに向けた動きが一服

昨年12月と今年1月の大型小売店販売額は、前年同期比3.2%減の170億円となりました。(※)

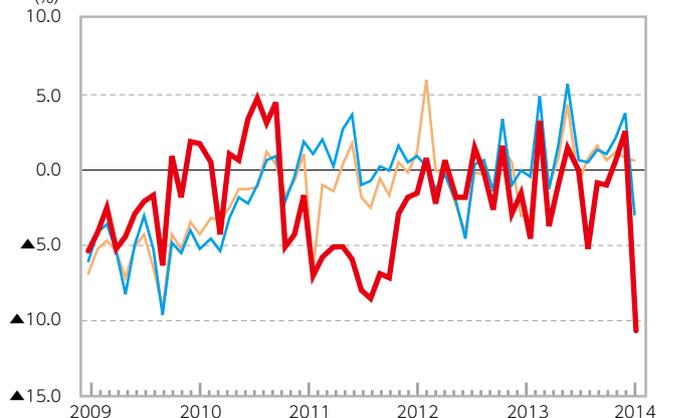
主力の飲食料品が惣菜を中心に好調だった一方で、専門店に消費者が流れている衣料品は低調に推移しました。

1月の自動車販売は、前年比31.3%増の4,489台となっています(乗用車は同32.4%増、軽自動車は同30.2%増)。

(※一部スーパーの調査対象期間が変更され、従来は1月の統計に計上されていた年末商戦が12月の統計に計上されました。従って、前年対比をする上で、上記は12月と1月の販売額合計で記載しています)

■ 宮崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省

(%) 10.0 5.0 0.0 ▲5.0 ▲10.0 ▲15.0





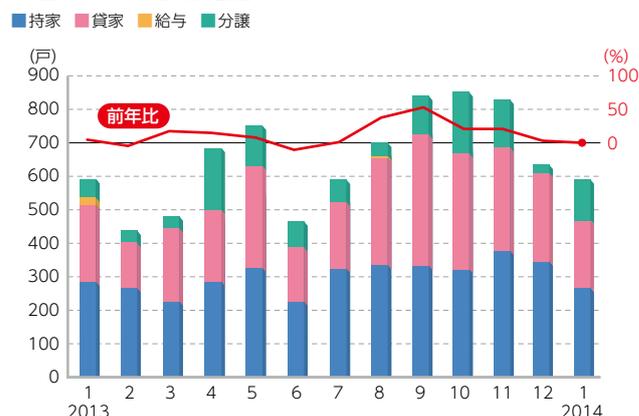
3.住宅建設 | 底堅く推移している

1月の新設住宅着工戸数は、592戸と前年同月比1.0%増加しました。

「持家」の着工が前年を上回った他、前年に着工がなかった「分譲(マンション)」で着工(77戸)がある等、底堅く推移しています。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



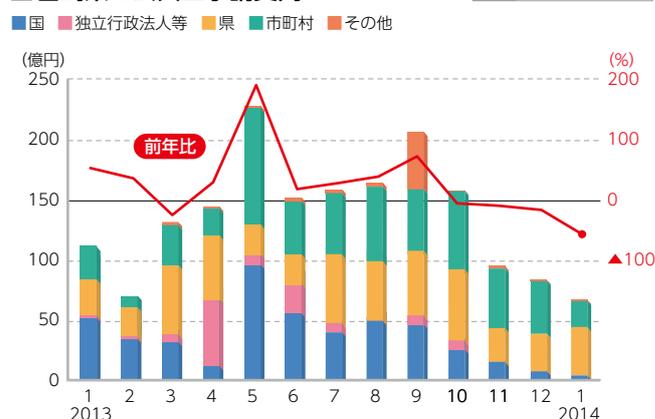
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比1.0%増の399件、金額が同42.6%減の64億円となりました。

大型工事に乏しく、「国」「市町村」が前年を大きく下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



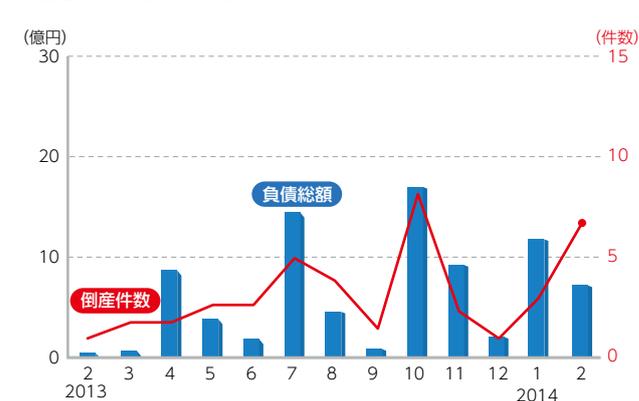
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比7倍の7件、負債総額が前年同月比約18倍の約7億円となりました。

ガソリンスタンド業で3億円の倒産が発生した他、ビジネスホテル業で約2億円の倒産が発生する等、負債総額、件数ともに前年を大きく上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

鹿児島県の景気は、生産が緩やかに持ち直し、個人消費が底堅く推移する等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、白物家電や農業製品関連の部品が増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。個人消費は、大型小売店販売額が前年をやや下回ったものの、自動車販売が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

(森山 裕司)

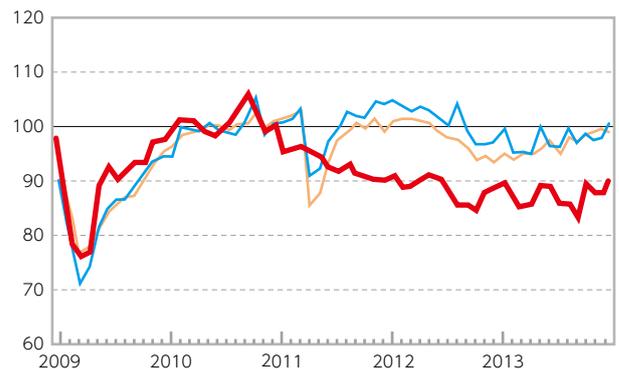
1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動が見られる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は90.2と前月比2.7%上昇しました。

主要業種では、白物家電や農業製品関連の部品が増産となった電子部品・デバイスや窯業・土石製品、焼酎や漬物等の生産が増えた食料品が前年を上回る等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。

■ 鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県・鹿児島県 2010年=100)

出所 鹿児島、九州経済産業局、経済産業省



2.個人消費 | 底堅く推移している

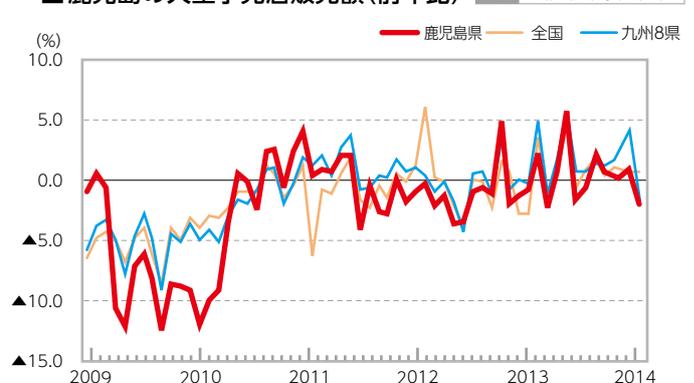
昨年12月と今年1月の大型小売店販売額は、前年同期比1.3%減の319億円となりました。(※)

主力の飲食料品が惣菜を中心に好調だった一方で、専門店に消費者が流れている衣料品は低調に推移しました。

1月の自動車販売は、前年比21.7%増の5,532台となっています(乗用車は同25.7%増、軽自動車は同17.6%増)。

(※一部スーパーの調査対象期間が変更され、従来は1月の統計に計上されていた年末商戦が12月の統計に計上されました。従って、前年対比をする上で、上記は12月と1月の販売額合計で記載しています)

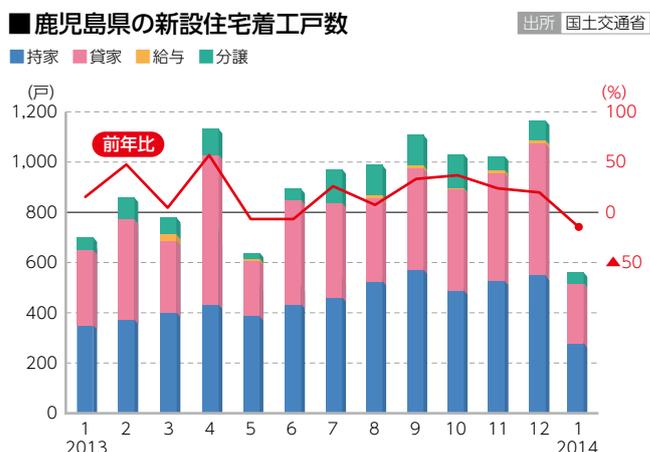
■ 鹿児島県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省



3.住宅建設 | 駆け込み着工の反動減が見られる

1月の新設住宅着工戸数は、549戸と前年同月比18.2%減少しました。

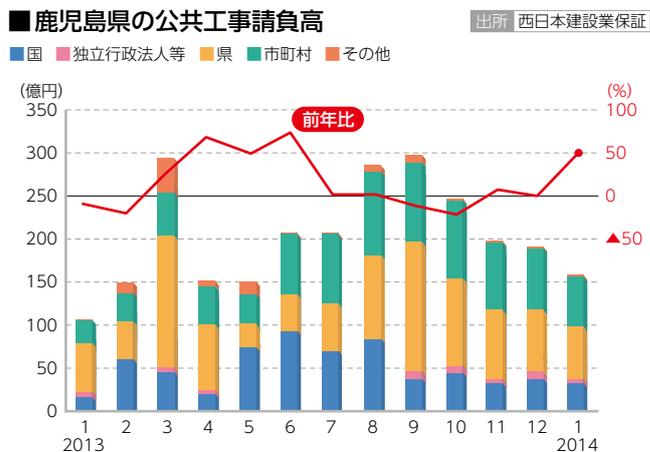
「分譲」は前年を上回ったものの、「持家」「貸家」が前年を下回る等、消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。



4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比12.9%増の516件、金額が同48.4%増の160億円となりました。

発注者別では、河川関連の改築工事があった「国」や市庁舎別館新築工事があった「市町村」が前年を大幅に上回り、3ヵ月連続で前年を上回りました。



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに3ヵ月連続で増加

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比83.3%増の11件、負債総額が同55%増の約10億円となりました。

1億円超の倒産が5件あり、負債総額、件数ともに3ヵ月連続で増加しています。

